

事務連絡
令和3年8月23日

関係各位

関東東海北陸農業試験研究推進会議
土壌肥料部会長 大脇 良成

令和3年度 関東東海北陸農業試験研究推進会議 土壌肥料部会秋季研究会について

このことについて、今年度はリモート開催のより下記により行いますので、御参加下さいますよう御案内申し上げます。また、同日午前で開催されます関東東海土壌肥料技術連絡協議会令和3年度秋季研究会についても、併せてお知らせ致します。つきましては、下記のとおり参加申し込みの受付を行いますので期日までに申し込みをお願いします。なお、例年研究会と日程を合わせて開催されております現地検討会につきましては、新型コロナウイルスの蔓延状況を踏まえて、今年度は中止とさせていただきます。

記

1. 関東東海土壌肥料技術連絡協議会 令和3年度秋季研究会（関東東海技連協主催）

- 1) 日時：令和3年10月11日（月）10:00～12:00
- 2) 方法：Web 開催（Zoom）
配信場所：AP 東京丸の内 H ルーム （Tel：03-5224-5109）
東京都千代田区丸の内1丁目1-3 日本生命丸の内ガーデンタワー 3F
- 3) 講演：「農業機械の利用による土壌養分管理（仮）」
 - (1) 土壌養分管理における新たな農業機械開発と利用技術（仮題）
澁澤 栄 氏（東京農工大学）
 - (2) 畝立て同時二段局所施肥機による省力栽培技術（仮題）
千葉大基 氏（農研機構 農業機械研究部門）
 - (3) 収量コンバインの収量マップ等を利用した可変施肥技術の開発（仮題）
関矢博幸 氏（農研機構 中日本農業研究センター）
- 4) 非会員の資料代：非会員の参加を歓迎致しますが、資料代として1,000円頂きます。
なお、会員は無料です。

2. 令和3年度 関東東海北陸・土壌肥料部会秋季研究会（農研機構中農研主催・技連協共催）

- 1) 日時：令和3年10月11日（月）13:00～16:45
- 2) 方法・配信場所：同上
- 3) 講演：「みどりの食料システム戦略」推進に向けた土壌肥料分野の取り組み
 - (1) 「みどりの食料システム戦略」の概要
井原 啓貴 氏（農水省 農林水産技術会議事務局）

(2)減化学肥料に向けた取り組み

座長：大脇 良成（農研機構 中日本農業研究センター）

①緑肥を利用した減化学肥料栽培（仮）

唐澤 敏彦 氏（農研機構 中日本農業研究センター）

事例報告：愛知県の露地野菜における緑肥の利用技術

山本 拓 氏（愛知県農業総合試験場）

②堆肥の高度利用技術（仮）

荒川 祐介 氏（農研機構 九州沖縄農業研究センター）

事例報告：混合堆肥複合肥料を利用した葉物野菜の栽培

中村 明弘 氏（静岡県農林技術研究所）

(3)温室効果ガス削減に向けた取り組み

座長：白戸 康人 氏（農研機構 農業環境研究部門）

①バイオ炭による農地 CO₂貯留

須藤 重人 氏（農研機構 農業環境研究部門）

事例報告：山梨県における4パーミル・イニシアチブの取り組み

長坂 克彦 氏（山梨県農政部）

②土壌管理による温室効果ガスの削減

秋山 博子 氏（農研機構 農業環境研究部門）

事例報告：農耕地土壌からの温室効果ガス排出を抑制する手法について

白鳥 豊 氏（新潟県農業総合研究所）

(4)まとめ・総合討議

3. 申し込み方法：

参加申し込みは、別紙1に必要事項を記載の上、9月24日（金）までにお申し込みください。

申し込み先：農研機構中日本農業研究センター研究推進室 山口 典子

(Tel:029-838-7157, Fax:029-838-8484, e-mail: noriko11@affrc.go.jp)

4. 問合せ先：

1)技連協研究会（10月11日午前）

農研機構中日本農業研究センター 研究推進部研究推進室

推進チーム長 山口典子

(Tel:029-838-7157, Fax:029-838-8484, e-mail: noriko11@affrc.go.jp)

2)関東東海北陸土壌肥料部会研究会（10月11日午後）

農研機構中日本農業研究センター 温暖地野菜研究領域 有機・環境保全型栽培グループ

主席研究員 徳田 進一

(Tel: 029-838-8826, Fax: 029-838-8484, e-mail: sytoku@affrc.go.jp)

以上